

「あいちモリコロ基金 助成活動成果」調査票【初期活動】

団体名・回答者・事業名等をご記入をお願いします。

■団体名：	■回答者のお名前
■助成事業名：	(実施年度 平成 年度)
※わからなければ未記入で結構です	

■はじめに。事業採択後、中止など実施されなかった場合は、その事情をご記入ください。

いずれかに○印を付けて下さい。 ・中止した ・一旦中止したが次年度以降で実施した ・その他

1. 助成を受けた「事業の状況」について

問1-1：助成事業は、現在どのような状況になっていますか。当てはまるもの一つに、○をつけてください。

1. 基本的にそのまま継続している
2. より発展した形で実施している(内容が進んだ・頻度が増えた・範囲が広がった・参加者が増えた等)
3. 縮小したが継続している
4. 休止あるいは中止している(再開の可能性はある)
5. 停止終了した
6. その他()

問1-2 上記で「1. 基本的にそのまま継続している」または「2. より発展した形で実施している」を回答いただいた方は、その具体的な状況をお聞かせください。

例	助成事業で、「ささえあいサポーター」養成講座を行い、約20人の高齢者ささえあいサポーターが誕生した。養成講座は現在年1回続いている。サポーターは、高齢者のための配食サービスを、週2回30件ほど行っている。

問1-3 事業を継続実施している場合、必要な資金をどのように確保していますか。以下の項目から該当するものを選び、主な資金源に◎、その他の資金源に○をつけてください。

	①会費、寄付を投入している
	②助成金・補助金を得ている
	③事業収益(参加費・利用料)等を得ている
	④その他()

2. 助成事業が「貴団体に与えた影響」について

問2-1 助成事業は、貴団体にどのような影響を与えましたか。各項目について、A～Eより、1つ選び、該当欄に○をつけてください。

	A:当てはまる	B:ある程度当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:当てはまらない	E:わからない
①団体の事業規模・財政規模が増えた					
②会費や寄付が増えた					
③活動の担い手や協力者が増えた					
④活動の担い手の力量(質)が上がった					
⑤団体の認知度や信頼度が高まった					
⑥ほかの助成金がとれるようになった					
⑦行政との関係や仕事生まれた					
⑧その他()					

問2-2 上記の問2-1で、「A:当てはまる」または「B:ある程度当てはまる」を回答いただいた方は、その具体的な状況をお聞かせください。

問2-1の番号	具体的な状況
例:③	助成事業が新聞報道されたことで、読んだ方からの問合せがあり、会員が以前の15名から20名になった。その中には、看護師のOGがいたため、高齢者のための健康相談事業も実施することができるようになった。

①団体の事業規模・財政規模が増えた	②会費や寄付が増えた
③活動の担い手や協力者が増えた	④活動の担い手の力量(質)が上がった
⑤団体の認知度や信頼度が高まった	⑥ほかの助成金がとれるようになった
⑦行政との関係や仕事生まれた	⑧その他

3. 助成事業が「地域や社会に与えた影響」について

問3-1 貴団体が助成事業を通して取り組んだ「課題」について、助成申請時と現在の状況を比較してどのように変化していますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 引き続き取り組むべき(拡大すべき)状況である | |
| 2. 解決した | |
| 3. その他() | |

問3-2 助成事業を終了以降、事業の効果を調査されましたか。

- | | |
|------------|--|
| 1. 調査した | |
| 2. 調査していない | |
| 3. その他() | |

問3-3 上記問3-2で「1. 調査した」を回答頂いた方は、その具体的な状況をお聞かせください。

例 講座終了後、半年経ってから受講者に事後アンケートを行った。これによって、受講後に本会の事業に関わる20名のサポーターの他に、6名が自分の地域で同様の活動を始めたことがわかった。

問3-4 助成事業は、地域や社会にどのような影響を与えたと思いますか。各項目について、A～Eより、1つ選び、○をつけてください。

	A:とてもそう思う	B:ある程度そう思う	C:あまり思わない	D:まったく思わない	E:わからない
①社会のニーズ・課題の認知を進めることができた					
②事業の対象者・受益者の自信や誇り、社会参加を育んだ					
③多様な人々に社会貢献の機会を提供した					
④地域の協力関係が作られ(広がり)、コミュニティづくりに役立った					
⑤課題に取り組むノウハウや情報が公開・共有できる状態になった					
⑥他の団体や他地域に、同様の取り組みが広がるきっかけを提供した					
⑦行政の事業・施策や制度に影響を与えることができた					
⑧その他()					

問3-7 上記問3-6で、「A」または「B」を回答いただいた方は、その具体的な状況をお聞かせください。主要なものを2つ3つ程度まで選択してお答えください。

問3-6の番号・団体の名称	「誰が」「どんな関わり」を持ったか。また、そのことによる結果や効果を、さしつかえない範囲で、具体的にお聞かせください。
例) ③・(〇〇町内会)	例) 年に1回の「川の大掃除大作戦」は、お知らせを町内会が回覧し、地域の人たちが40名参加してくれた。夏休みには、川清掃と川遊びのイベントを子ども会と共催し、延べ50名が参加した。

- ①対象者・受益者 ②対象者の支援者や関係者（家族等） ③地域住民・地縁組織（町内会、子供会等）
 ④他のNPO・ボランティア団体等 ⑤学校・教育機関・専門家 ⑥企業・営利団体
 ⑦行政・議会 ⑧その他

4. モリコロ基金へのご感想や市民活動支援へのご意見

問4-1 この助成制度を利用して、よかったと感じるのはどんな点ですか。当てはまるものを5つまで選んで、○をつけてください。

1. 活動分野が特定されていない／複数の分野にまたがった活動も申請できる点
2. 設立したばかりの団体・法人格をもたない組織も応募ができる点
3. 助成金額が多い点
4. 人件費や物品購入も対象経費とされるなど、用途の自由度が広い点
5. 助成金が前払いである点
6. 説明会や相談コーナーがあり、助言等が得られる点
7. 広域的で採用件数が多いため、他の助成事業(団体)の情報が得られる点
8. モリコロ基金の知名度によって、PR効果や信頼度の面で成果があった点
9. 団体としての活動の自信やノウハウが生まれ、活動が活性化された点
10. いろいろな人たちと知り合い、活動の拡がりづくりに役立った点
11. その他()

問4-2 あいちモリコロ基金の10年間を振り返り、どのような成果やまた何が実現したと思われますか。当てはまるものを3つまで選んで、○をつけてください。

1. 市民参加の促進
2. NPO等市民活動の活発化・力量拡大
3. 多様な立場の人の共生・交流ネットワーク・協働の発展
4. 社会課題や地域の課題解決が進んだ
5. 新たな社会課題や地域の課題への取組が始まった・広がった
6. 将来の世代が安心して暮らせる持続可能な社会づくりが進んだ
7. 地球規模の課題を自分たちの課題とする市民や活動が増加した
8. その他()

問4-3 モリコロ基金の成果を今度どのように活かしていくとよいか、ご意見等がありましたら、お書きください。

問4-4 その他、前問まで以外で、モリコロ基金への感想や市民活動支援について、ご意見等がありましたら、お書きください。

★情報提供のお願い

あいちモリコロ基金助成事業の中で、下記①～⑥の分類において、よい活動事例をご存知でしたら、ご紹介ください（自薦他薦いずれも可）。

番号	具体的な内容
例)③	助成金を活用して、講座を開催していました。事業を通じてプログラムが確立できたことと、関心のある人とつながることができたため、助成終了後は参加費収入をもとに実施しています。
④	助成を受けて外国籍の子どもたちへの学習支援を行っていた団体がありました。その後、活動地域の行政が事業化したことから、受託して実施するようになりました。

①初期活動から、(活動・団体)が、「発展・成長・拡大」した事例
 ②協働・ネットワーク形成が「発展・成長・拡大」した事例
 ③ビジネス化事例（企業的自立/NPO的自立）※自立には（経済的・組織的）いずれも含める
 ④サービス対価が得難い事業（団体）の実施事例
 ⑤その他、助成金の成果がでている事例

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。